

千葉市下水道雨水浸透施設の整備計画の策定に関する研究

全体期間

1995. 2～1996. 3

(目 的)

千葉市においては、六方都市下水路排水区域内の浸水常襲区域の解消を図るため、同排水区域内の住宅地である東寺山地区を「下水道雨水浸透施設整備計画区域」とする計画を策定中である。

雨水浸透施設は、その多くの実績から、浸水防除や雨天時汚濁負荷削減、あるいは地下水涵養などに効果的であるという認識が年々高まってきている。さらに平成6年度には、建設省が補助事業として「下水道雨水貯留浸透事業」を策定し、それに伴って「下水道雨水浸透施設技術指針（案）」が制定された。これにより、雨水浸透施設は、より一層普及していくものと思われる。

そこで本研究は、計画策定の手法を確立させることを長期目標とし、上記「下水道雨水浸透施設技術指針（案）」を基本とし、当該排水区内の自然的条件、土地利用計画などの調査を行い、地域特性を把握した上で最適な整備計画を策定することを目的としている。

(内 容)

本研究は、下水道雨水浸透施設の整備計画を策定し、施設設置に係る手法を確立することを目指し、以下の調査・検討を行うものである。

1. 自然条件等の整理

調査対象区域内（六方都市下水路排水区域1,300ha）における自然条件、地下水の利用状況、土地利用、下水道整備状況、などの既存資料の収集を、関係公共機関等を対象として行う。

2. 浸透適地の把握

上記資料に基づき、浸透適地を把握する。

3. 浸透適地の確定

資料の不足分などに対し、適宜地質試験等を行い、浸透適地を確定する。

4. 下水道雨水浸透施設整備区域の設定

調査結果を基に、下水道雨水浸透施設整備区域を設定する。

5. 施設の構造検討、浸透能実験の実施、能力評価

浸透施設の構造を検討し、浸透能力の評価とそのために必要な浸透能試験の方法等について検討し、実験を実施する。

6. 浸透施設の配置

効率的配置方法（施設の組み合わせ方法等）の検討を行う。

7. 整備効果の予測

雨水浸透施設の整備効果の予測を行う。

8. 配置計画の確定

整備目標を達成しているか検討し、最適配置計画を確定する。

共同研究者：千葉市

財団法人 下水道新技術推進機構

研究担当者：藤田 昌一、鈴木 茂、田中 一郎、財前 光良、宮田 篤

キーワード

雨水浸透施設、整備計画、自然的条件、浸透適地、効果予測